

(議長)

会議を再開致します。

教育委員会所轄の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「学校教育課長」

学校教育課長。

(議長)

学校教育課長。

「学校教育課長」

それでは私から、学校教育課所管分について説明させていただきます。新規事業を中心に、えー予算資料で説明させていただきます。予算資料15ページをお開き下さい。

事業ナンバー279、江差高等学校サテライン講習支援事業です。新規事業です。えー江差高等学校生徒の進路実現の充実に向けて、えー大手予備校のオンライン講習を受講することで、都市部と同等の進学に向けた学習機会を充実させるた、させるための受講費を負担するものです。江差町の負担は7万5千円です。

次に事業ナンバー289、280及び296、えースクールバス運行委託です。予算額は、小中合わせて3,756万9千円です。前年比157万3千円の増となります。委託内容に変更はございませんが、燃料費等の高騰による委託料の増によるものです。

次に事業ナンバー282、小学校管理です。予算額は7,230万8千円、前年比158万8千円の増となります。増額の要因につきましては、小学校のエアコン保守点検、えー江差、江差小学校高圧ケーブル取替工事、えー江差小学校暖房機用高圧電気設備取替工事を新たに実施することなどによる増額に伴うものです。

次に事業ナンバー284及び298、小中学校の学びの形作り推進事業です。令和5年度から3年間、モデル事業として取り組んで来た事業です。学校の裁量で子どもたちの学びに繋がる各種事業を実施しております。令和8年度からは児童、生徒数に応じた補助の上乗せを実施し拡充します。前年対比200、28万9千円の増で、予算額は合わせて103万9千円です。

次に事業ナンバー285、英語指導助手配置です。現在、えー居るALTが、本年7月末で任期満了となります。8月から新たなALTを迎えるにあたり、その際に必要な旅費等が増額となっております。前年対比79万6千円増、予算額は190万円です。

次に事業ナンバー293及び303、小中学校のICT環境整備です。新規事業です。令和8年度から、全ての小・中学校の端末が更新となる事から、導入に合わせて研修の実施や環境整備、助言などの委託を行います。予算額は合わせて74万7千円です。

次に、事業ナンバー297、中学校管理です。予算額は2,655万円、前年比154

万2千円の減となります。エアコン保守点検や、北中学校の、えー特別支援教室の床改修工事が増額となっておりますけれども、令和7年度実施した各種修繕が終了した事により減額となっております。

次に事業ナンバー295及び305の学校給食費の無償化事業です。令和8年度も引き続き実施します。小中合わせて1,713万5千円です。その内、国の給食費無償化事業により児童分のみ補助されます。歳入金額は90,949万5千円です。

予算資料16ページをお開き下さい。事業ナンバー331、江差町・上ノ国町学校給食センター運営です。予算額は1億3,239万円、前年比350万9千円の増となります。えっ物価高騰の影響により、給食食材費の増、えー給食が食べられない事態に備えた代替食予算として新たに96万2千円追加となっております。また、物価高騰による給食費の改定を実施致します。1食当たり、小学校は40円、中学校は50円値上げし、給食費収入は285万5千円増となります。

予算資料34ページをお開き下さい。奨学金特別会計です。えー前年度から大きな変更点はございませんが、記載の通りの新規貸付及び継続貸付を予定しております。予算額は448万9千円となっております。以上、学校教育課所管の予算説明を終わります。

「社会教育課長」

社会教育課長。

(議長)

社会教育課長。

「社会教育課長」

それでは、社会教育課所管の新年度予算についてご説明させていただきます。えー予算書では122ページから131ページ、予算資料は15ページから16ページ、ナンバー306からナンバー330番までの26事業が社会教育課所管となっております。えー予算資料から、えー各係の新規事業ほか、えー変更点等ある主な事業についてのみご説明をさせていただきます。まず、予算資料の15ページをお開き下さい。

資料ナンバー306番の社会教育事務でございます。えー社会教育委員の会議等の経費が主なものでございますが、えー令和8年度は、えー10人乗りのハイエースのリースが、えー7月で満了となることから、えーリース料及び燃料費分が昨年度に比べ減額となっているほかは大きく変更はございません。

えー続いて、えーナンバー313番のわくわくこども広場運営モデル推進事業についてです。えー冬期間における子どもたちや親子の交流の場として、えー文化会館大ホールを活用した、えー遊びの広場を継続して実施をして行くものでございます。えー予算額は103万飛んで7千円を計上してございます。

次に16ページになります。えー資料ナンバー316番の芸術鑑賞事業でございます。

えー小学生を対象とした影絵劇の公演による出演料及び、えー小学生児童の送迎バス等の経費を計上しております。予算額は68万5千円でございます。

次にナンバー322番、えー開陽丸船体現状確認調査でございます。えー令和5年度から実施しております開陽丸船体の潜水調査及び記録保存について、えー文化庁の補助を活用し、継続して実施をするものでございます。予算額は、えっ971万3千円を計上してございます。

続いて300、ナンバー323番の開陽丸遺物の保存活用についてです。えっこちらは引き上げられた遺物のデータベースの作成、保存、活用に向けた検討委員会の開催経費のほか、令和7年度に加盟を致しました全国史跡整備市町村協議会の総会が、えー令和8年度函館市で開催され、されることに伴う実行委員の対応、また、えーそれに伴う北海道市町村文化財保存整備協議会への加盟経費を計上しております。えー予算額は239万9千円でございます。

えー続いて、ナンバー325番の生涯スポーツ推進についてです。えースイミングスクールや社会教育団体の活動支援として、昨年度と大きく変わりはございませんが、えっ既存の中にありました体育施設の利用補助、えー及び全道全国大会参加の補助分については、新規の支援事業として、えっ計上しております。えーこちら予算額は187万6千円ございます。

次にナンバー327番のスポーツ団体活動支援事業補助です。えっこちらは、先ほどの生涯スポーツ推進の中から新たに新規事業として、えーしておりますもので、えー生涯学習センターの閉鎖に伴い、えーまなびづくりに活動をいて、移転している団体の使用料の助成、えー並びにスポーツ団体の全国、全道大会出場に伴う助成制度を新たな補助制度として、えー一括するもので、えー予算額を74万5千円を計上しております。

以上、簡単ではございますが、社会教育課所管の予算説明を終わらせて頂きます。ご審議方よろしくお願い致します。

(議長)

以上で補足説明が終わりましたので、質疑を許します。
質疑希望ありませんか。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

えーすいません。私の方からですね、えーと279番、江差高校学校サテライト講習会支援事業の関連についてご質問させていただきます。えー今回、このような形で江差高校さん

の方に、まあ、ほ、ほう、あの、事業費の補助という形で7万5千円計上しております。大変良いことだと思います。ただ、現状の、今、江差高校における状況は、我々が思っている以上に、かなり厳しい状況に置かれていることが先だって、我々委員会が校長先生とお話させて頂きまして、もう本当にけつ、けつに火付いてるんですよ。

で、今回ご承知の通りひと、1クラスになりました。そして、来年もし万が一1クラスになると、もう江差の将来はもうそこで消える可能性がありますよとまで言われてるんですよ。と言う事は、如何に生徒を江差高校に入って貰うかって言う事を、やっぱり江差町として考えなければならないし、やはり15歳から18歳までの人口を、お一引き留めておくって言う事も考えなければならないなと思います。

そこで問題なのは、結局、他、他町での高校が一生懸命やり過ぎちゃって、結局、うーそちらの方に流れていっているっていう事実です。じゃあなぜ流れるのか。だらやっぱり、生徒に対しての金銭的な負担、これをやはり町が補助している。すると、まあ子どもも然り、やはり親も、まあ同じ高校なら負担の掛からない所というふうになるらしいというお話はしてました。ならば、じゃあ江差町もですね、やはり江差高校に対して、7万5千円じゃなくて、もう少し検討出来ないものなのかなというふうに思っております。

で、ちなみに、まあ隣町の高校は年間約1,300万から1,400万くらいやっております。何もそこまでせ、と僕は言いません。ただ、7万5千円じゃなくて、まあ今年度余裕があればもう少し上乘せするなり、令和9年度に向けて、やはりその一、生徒さんの負担が軽減出来るような方策を何とか検討出来ないものでしょうか。ご答弁お願いします。

「学校教育課長」

学校教育課長。

(議長)

学校教育課長。

「学校教育課長」

えー増永議員のご質問にお答えしたいというふうに思います。

えーと大変厳しいという状況は、新聞報道等でも、あの一議員各位ご、ご存知のことかと思うんですけども。

えーとまず、私達、えー教育委員会として出来る事は何かって言う事は、えー、えっ議員、えと一、事務調査の中でも私は説明させて頂いていたと思うんですけども、えーと令和8年度、えー江差高校からの要望も教育長に対してございました。えーどのような、その要望の一つとして、今回、サテライン授業の、えー一部補助を予算化させて頂いたところなんです。

えー確かに、えー江差町の実態とすると、えー江差町、近隣町のじ、実態とすると、江差高校の進学率は下がっている状況にございますけれども、今年度、令和7年度に関しては、江差中学校の子どもたちについては、昨年度よりは5%進学率は伸びている、江差高

校に進学、率は伸びている。で、えー増永議員おっしゃるように、上ノ国高、上ノ国高校の頑張りがあって、上ノ国高校は実際に、えー増えているという状況もございます。

で、教育委員会として出来る事については、令和9年度どのようなことを、令和9年度以降のこう言う事をして欲しいという要望も、実際に江差高校から受けております。で、それらも踏まえて江差町教育委員会として、まあ今年度どうのこうのっていうところになるかどうかは別にして、令和9年度以降についても、えー出来る事、経済的補助なのか、子どもたちに対する学びの補助なのかっていうところは、えー令和9年度に向けても、えー継続して協議はして行く事としておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

「増永議員」

はい。

(議長)

増永議員。

「増永議員」

はい。ありがとうございます。

あの一令和9年度に向けて、まあ本来ならば、令和8年度も追加の予算あればお願いしたいんです。と言うのは、やはりその一、切々と校長先生曰く、本来に来年1クラスになったら、江差の高校、江差高校の将来はもう途切れる可能性は大きいですと。何故かしたら、隣町に取られちゃうよっていう話なんです。だからその辺のところ、今ここでじゃあ100万出せ、200万出せって話じゃなくって、やはり気持ちとして7万5千円以上の、やはり財政支援を町として、存続するために、是非、令和9年度に向けて、若しくは令和8年補正予算、追加予算、そこの部分も含めて、是非ご検討お願いします。

以上です。はい。ありがとうございます。

(議長)

飯田議員。

「飯田議員」

えーそれでは私から、学校教育について2点質問致します。

えーまず、小学校中学校のICT環境整備でございます。まっこれは、まあ各学校、紙からタブレット、そういう部分で事業が進んでおりますけれども。

私も周りに、えー小学生の小さい、えーお子さんとこう接触する機会が大変多い訳でございます。まっ学校もそうでありますけれども、家庭に帰ってもですね、スマホだったりタブレット、ゲーム機でね、もう親子の会話が中々無いと。もうそれに熱中したら、もう本当に周りを振り向かない、そういう子どもさんが大変増えておりますよ。こういう小さいお子さんが将来、大変心配するんですよ。まっこれはこれで、国の政策ですから、これ

は進めるとしてもですね、それと相まって、もう少しやっぱり会話ですとか、字を書いたり、読書をしたり、そういうようなね、対策もやっぱり並行してやっていかなければね、子どもたちの将来は大変厳しいと思います。

ある自治体では、やっぱり条例を作って、日中、まっ学校以外の生活に、例えば2時間だけっていうそういう条例を作った、えー自治体もあるようでございます。そこまで要求しませんけれども、そういうような実態を配慮しながら、やっぱりその、元だる活字に親しむ、読書に親しむ、そういうような学校教育も進めて行くべきと考えますが、その点、委員会として如何お考えなのか伺います。

えーそれともう1点。えー常に話題になります。まっ昨日も、定例会冒頭において、あの寄附採納の報告がありまして、私、教育委員会の方にランドセルのあのカバー30という寄附がございました。あら、そんなに少ないんですかしたら、もっと実態は少ないという、委員会からお話を聞きました。町内3小学校の入学生が25人だそうですよ。もうこう言う事自体が進んでいったら、もう小中学校統合も視野に入れなければ、まっ駄目だと思います。

一部の小学校では、全て複式学級が施行されているようでございます。これらを含めましてですね、その部活の地域移行、まっあの一授業ばかりじゃなくて、特に部活もそういうような生徒数の減少が、まず、もろにやっぱり影響する訳でございます。現状、その部活移行はどのような実態になって、令和8年度では、どこまで、その一部活移行が進んで行くのか、お答えを頂きたいと思います。

(議長)

学校教育課長。

「学校教育課長」

飯田議員のご質問に、1問目、えー私の方からお答えさせて頂きたいというふうに思います。えっ新規事業で先ほどご説明させて頂きました、ICT環境整備に関連してのご質問だったというふうに思います。

えーと学校の、えー飯田議員ご存じの通り、えーやはりタブレット端末を使用しての授業、それからモニターを使用しての授業、えーICTを活用した授業が主流になって来ておる実態がございます。

ただあの一、飯田議員の懸念の通り、やはり、えーもの、読書、それからアナログの部分って言うのは、えー教育委員会としても必要な部分だっというふうに思っておりますので、教育行政執行方針でも述べさせて頂いた通り、えーICT、要はデジタルとアナログの融合と言う事で、いいところをそれぞれ、えー取りながら、えー子どもたちの学びの環境を整えるためにも、ICTは当然必要な、あの媒体として整えさせて頂くと共に、えー体験学習だとか、まっ朝読書だとか、えーアナログの、えっ取り入れながら、えー学校の、えーと学びに繋げて行きたいというふうに思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

「社会教育課長」

社会教育課長。

(議長)

社会教育課長。

「社会教育課長」

えー私の方から飯田議員の2問目の方で、えー部活動の地域移行展開について、生徒数の減少で、令和8年度以降どのような状況かと言う事でご質問がございました。

えー今、現状、おー中学校の部活動については、えー単独での学校、単独での部活動又、特に団体競技については単独で存続することが難しいと言う事で、えー近隣町との合同部活動で大会出場等をしている状況であります。で、令和8年度以降についても、えー今の現状、単独では非常に難しい状況です。

で、えー例えば野球、それから今あるのがバスケット男女、それからバレーボール、団体はその4つになります。それと卓球、それと吹奏楽部という形になりますが、えー現状からすると、えー今、現状で、あの地域への移行展開という形で進めている中では、バレーボールが、えー一つ、クラブチームという形で設立をして、えーその形で地域で動けるような形で今、あー今年、今年度動きがありまして、来年度はそのクラブチームと管内の、おー中学校の合同部活で、えー2チーム、バレーは2チームというような状況になってます。で、バスケットも近隣町の合同チームでやってもう、南部で2チーム、えー合同チームで、2チーム同士での対戦と。野球も管内でも合同でやって、もう4チームというような今現状でいます。

でー今後、令和8年度以降の、まあ部活動の推進と言う事なりますが、えー今回、その地域へのどうやって移行して行くかと言う事で、今、バレーボールが出来てきましたけども、出来るだけその地域の中で、えっクラブチームなりが、えー行動出来るような形であれば、そこに移行させて行くと言う状況になりますが、まだまだ厳しい状況であります。

でー、もう一つは、近隣町との、まあ合同部活動、おーそれが、えーどういう形で出来るかと言う事は、まだ近隣町とも色んな形での整合性が取れてもございませんので、令和8年度についても、どういう形で出来るかというところは、えーちょっと具体的に申し上げる事は出来ませんが、えー近隣町との協議を進めながら、えー地域で、えーそういう活動が出来る環境を近隣町とも協議を進めて行きたいというふうに考えてございますので、ご理解頂きたいと思います。以上です。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

社会教育、え一二つ、お願いします。

えーと最初に、えーとこの資料、えっ予算資料、の313、わくわくこども広場について、えっと、もしかして先ほど説明あったらご免なさい、聞き漏らしてたかもしれません。あのこん、今回人数何人だったのか、ちょっと教えて貰いたいなど。

それで、えーと今年、今年ちゅうか、この冬で4回目だったかと思うんですけども、あの一私も、まあ知り合いの子どもを連れて、えっ今回、5回か6回か、まあ行きましたが、本当に多くの地域から、それこそ上ノ国からも、私行った時、なんか5、6人来てたとかって、えー本当に、あの冬場、あの楽しい、えー町として、いや教育委員会として素晴らしい場所を付けたなと思うんですが。

質問として、教育委員会、社会教育として、あの事業をこれからの継続という、どういう風に考えていらっしゃるか。あの一まあ考え方によっては、道の駅に、新・道の駅に、まあ恒常の、1年間通した子どもの遊び場と言うのが出来ます。まあすみ分け的なものも出て来るのか、ちょっとよく分かりませんが、教育委員会としての、ちょっと考え方。と、えーと、ちょっと私の記憶間違いでなければ、あそこの遊具、えっとあんまり変わってないのかなと思ったんですよね、最初の頃と。最初からちょっと変わってるのかな。いずれにしても、えー何回か来てる子どもは、もう知ってるんですね、あの一中身を。なので、やはり、今あの予算と言う事もあるでしょうけれども、えー遊び、遊びの種類、種目、あの一ちょっと充実と言う事も検討出来ないかなというのが1点目です。

それからもう一つ、郷土資料館。あの一先だって、皆、私の、南が丘の老人クラブで、ちょっと事業を起こしまして、えー高齢あんしん課で、えーまあ福祉バスちょうど空いてるから使っても良いよと言う事で、えー町福祉バスを使って、まち巡りという事業名で郷土資料館に行きました。まあたまたま居たのか、もう一狙い撃ちで居たのか、宮原さんに、もう説明して頂きまして、ビックリしたんですけれどもね。えー参加した人、10、11人かな。半分は、初めて来たって言うんですよ。江差町の人ですよ。私よりもずっと長い人が居るのに初めて来た。それから、本当にしばらくぶりに来た。で今度、中村家に行きたいねだとか、あのそういう話もあって、私思いました。せっかく町民無料、えー中々自分では、まあ江差マース使えば行けるっちゃ行けるかもしれませんが、やっぱり中々気軽に簡単に行けると言う訳でもないです。やはり何か事業的なもの、えー、まあ担当、教育委員会、社会教育、まあ中村家でも関川家でも良いですよ、そういうところに呼び込む、そういう仕掛け、まあ、えー足の事で言うと、高齢あんしん課も何か仕掛け考えてるらしいです、新年度。

そう言うのを同じ町、役場の中です、うまくやって、えーお客さんを待つのではなくて、呼び込むと言う事も含めて、江差町の文化財、お一文化財以外にもあるでしょうけれども、えーそういう意味での賑わい、若しくは、えー社会参加するという部分も含めて、まあある意味高齢者対策もなるかもしれません。そう言う事を是非、社会教育としても、えー検討出来ないかなと言う事でもあります。どうでしょうか。

(議長)

社会教育課長。

「社会教育課長」

えー小野寺議員からのご質問にお答え致します。

えー2つ有りますので、まず1点目の、わくわくこども広場の関係でございます。えーとまず、この令和7年度で開催しました、1月25日、12月20日から1月25日まで開催した、あー今年度の実績は、全部で810、延べで813名になります。えーその内、内訳としますと子供たちでは、えーと5百、えー30名、それからその保護者、大人等で283名というような形になってございます。えーちなみに、昨年が、えーと832名と言う事で、おおよそ同じような規模になるかというふうに思います。昨年は、ちょっとあの一、小学校、保育園の団体の利用も、えーと多かったです、今年度ちょっと1件だけと言う事で、ほぼほぼ昨年度並みと言う事で、えー人数はなっております。

それと、えーとまあ今後の考え方と言う事でございますけども、えー今回この名前にある通り、モデル事業として、えー4年前に開、実施をしております。で、これは何故モデルかと言うと、先ほど小野寺議員からも有りました通り、えーと新しい道の駅の方で今度、恒常的にその子供たちが、遊び場と言う事が、えー出来てきますので、そのすみ分けと言う事では考えて行きたいなと思っております。で、うーと道の駅のまあ遊具がどういう形になるかというのは、未だははっきりしませんけども、大きくは、えーと多分、親子、この小さな子供たちが遊ぶような形のものがメインになるのかなと思います。で、えーそこからのすみ分けとすると、えーうちの方でもまあスポーツ的な、えーと遊具等を置いてますけども、小学生、中学生等が、えっ冬場で、室内で体を動かせるような状況、えーそういったスポーツ的な運動的なものを少しそちらに集約をさせて、えー展開出来ればなというふうには考えてございます。

で、遊具等の、まああの一変更が無いんじゃないかと言う事ですが、えーと当初設置したのから、えー一応アンケート調査等でこういうものを置いて欲しいとかって言う事で、ここ2年くらいは、少し遊具を入れ替えさせて頂いてます。ただ、あの一今年度については、大きな入れ替えは無かったです、えーと昨年までは、えーと新しいものを入れ替えしたりとかと言う事でやっておりますので、えーと、あまりこう大きく変えて行けるようなものでも無いので、えーそのまま使っている部分でありますけども、えっとまあ要望等が有る部分で出来るものについては、えーと少しずつ変えて行きたいなというふうに思っております。

それと、えー2点目の郷土資料館の関係でございます。あの一地域の方を呼び込むような取り組みが出来ないかと言う事でございますが、まず一つ、郷土資料館で、えーとまあ見た事が無いと言う方々に、まあ魅力として発信をしているのは、まあ年2回ほど企画展等で、えーと色んな、新たなものをこう見せるような形のものを取り組んでございますが、えー小野寺議員言うように、えー新たな事業で町の方を直接引っ張って来ると言う事業は、ちょっと今のところ未だ我々も考えて無いんですが、えー先ほど言いましたように、例えば高齢あんしん課で、えー色んなそういう取り組みだとかって言う中で、郷土資料館を活

用して頂くとか、そう言ったところの連携については、えー今後させて頂きたいなというふうに思いますので、ご理解頂きたいと思います。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

はい、あの一よろしくお願ひします。それで私、わくわく広場を取り上げたのは、わくわく広場やっている文化会館、その事もまたちょっと触れたいから、えー先ほど出しました。えー結果的に文化会館を使います。で、まっ保護者の方とも色々そこで話す機会がありました。文化会館の1階、ホールって言うんでしょうか、もったいないねと大体言いますね。あそこの有効活用、例えばです、子どもさんが来るとかもありますので、ちょっと、あの一図書を担当いらっしゃいますけど、ちょっと分かりませんが、あそこに、あの一もう少し本置くとか、まっ貸し図書と言う事になるのか、来た人に見せると言う事になると、ちょっと内容も違って来るか分かりませんが、あそこでちょっと一休みと言う事も含めて、場合によっては、別に、あのホール、大ホール、小ホール行かなくても、あそこの、えーまあちょっと広い所で、まっちょっと一休み。海すごい景色良いねと言う、あの保護者も、あの滅多に出来ない保護者、その遊び場に連れて来た保護者ですね、すごい良い景色だねと、そこにちょっとこう憩えるような、何か仕掛けするとか、文化会館も人を呼び込むと言う事については、もっともっと工夫する必要、私は有ると思うんですよ。色んな事業との関連性も有れば、まあ独自のもの有るかもしれません。えーせっかく江差町の大きなホールですので、そういう有効活用も含めて、ちょっとご検討願えないかなと思います。如何でしょうか。

(議長)

社会教育課長。

「社会教育課長」

えー小野寺議員からの、えーご意見と言う事で、えー承ってございます。承りましたが、まずあの1階のロビーについては、あの小野寺議員、あの一おっしゃる通り、まっ景色が素晴らしいよと言う事で、あの一利用される方からもそういうご意見は伺ってございます。

ただ、えーとちょっとあそこの部分をどう活用するかっていう部分については、今、具体的に例えば本を置くとかっていう形のものも有りましたけども、例えば2階にある図書館との、この一まあ、えーと利用の、活用とって言うところを考えた時に、まあ下に本を置くかどうかと言うところもあるんですが、えーとまあご意見としてそのロビーをどうやって活用して行くか。えー、また文化会館の、えー利用と言う部分の促進というところで、どういう活用が出来るかと言う事をちょっと検討させて頂ければというふうに思いますので、よろしくお願ひ致します。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、教育委員会所轄の予算並びに関連議案についての質疑を終わります。

以上で令和8年度各会計予算並びに関連議案についての質疑を終了します。

2時40分まで、休憩致します。

休憩 14 : 26